

コジマ・ムジカ・コレギア

# 青少年のためのオーケストラの祭典

コジマ・ムジカ・コレギア第30回定期演奏会  
広島ジュニアオーケストラ第20回定期演奏会  
合同記念演奏会 ～小島秀夫メモリアルコンサート～

名誉音楽監督  
小島秀夫(故)

2023年8月13日(日)

開場14:15  
オープニング演奏14:50ごろ  
開演15:00(18:30終演予定)

会場:JMSアステールプラザ 大ホール(広島市中区加古町4-17)

主催:青少年のためのオーケストラの祭典 実行委員会

共催:広島ジュニアオーケストラ・小島先生ありがとう!会・一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギア

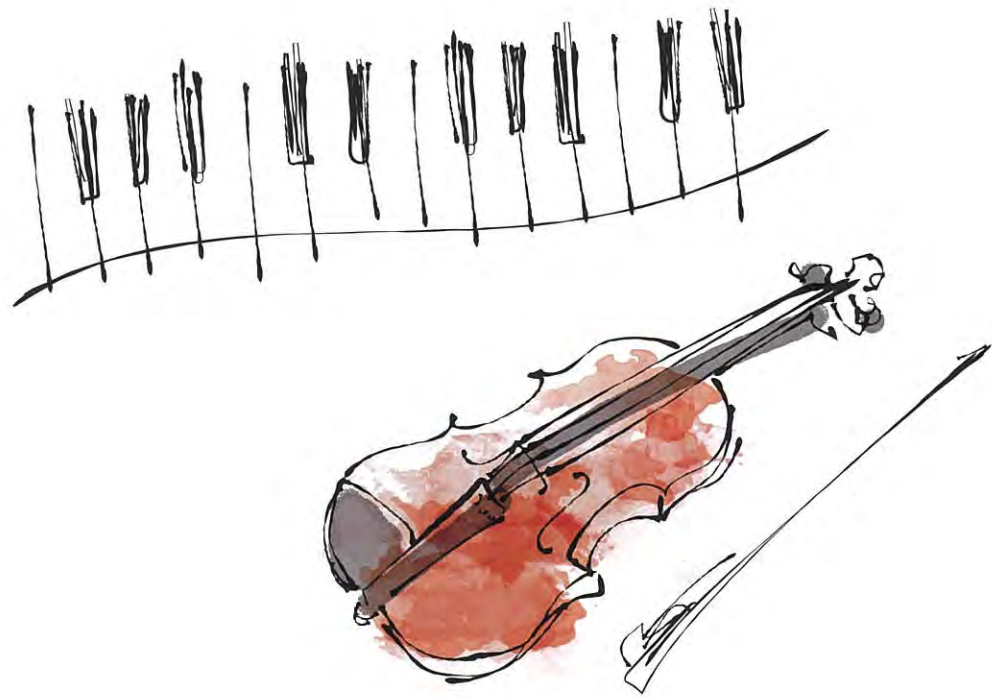
後援:広島県・広島県教育委員会・広島市・広島市教育委員会・中国新聞社・NHK広島放送局

協力:日本音楽財団(日本財団助成事業)

助成:公益財団法人広島市文化財団文化活動助成事業

公益財団法人エネルギー文化・スポーツ財団助成事業





### 《コジマ・ムジカ・コレギア発足30年》

長年、広島の地で音楽文化育成に邁進してきました小島秀夫、

在りし日の思い出を胸にコジマ・ムジカ・コレギアと

広島ジュニアオーケストラの仲間一同、門下生、OBたちが集まり、

楽しくてあったかい記念の演奏会をいたします。

そして、未来に向けて次なる第一歩を踏み出します。

### ご挨拶

本日はお忙しい中ご来場くださりまして、誠にありがとうございます。  
N響、広響と演奏家のキャリアを積んだ父・小島秀夫が、次世代への種をまくべく、「弓の会」のレッスンのかたわら立ち上げた「コジマ・ムジカ・コレギア」と「広島ジュニアオーケストラ」。  
70年は草木が生えないと言われた、被爆地の瓦礫の山で育った一人のヴァイオリニストのもと、数えきれないほどの音楽好きの子供たちが巣立っていきました。



私もその中で育てていただいたうちの一人です。

父がオーケストラの指導をするかたわら、ほこりっぽい練習場の片隅に寝かされていた赤ん坊が、いつの間にか自分もやることになり、気がついたらみんなの合奏の仲間入り。毎週日曜の練習や夏合宿こそが生きがい。牛田公民館、袋町小学校、西区民文化センターは、みな家みたいなもの。

自宅には毎日、たくさんの子供たちがレッスンを受けに来ましたし、尾道、福山、倉敷、岩国・・・父の車で、出張教室にもついて行ったものです。

コジマ・ムジカ・コレギアの定期演奏会といえばアステールプラザ5F大音楽室でのリハーサル。リハーサルをじっと見学することには興味がなく、ひたすら裏方の仕事の邪魔に徹した私。会報のホッチキス留め、お弁当配り、チラシの誤字訂正作業、楽しかったものです。

室内楽セミナーHIROSHIMA MUSIC FESTIVAL(現・しまなみ音楽祭/5月の尾道音楽学校)では、広島音楽高校に、若くて上手な先生たちがいっぱい集まって、遊ぶように楽器を弾いていました。それは刺激的なひとときで、ただただ憧れの気持ちでした。

要するに人が集まるのが好きで、それを実現させてくれるのが音楽だったのです。

そこでは一生モノの親友や先輩・後輩がたくさんできました。一人っ子だった私にとって、みな家族のようなものです。

合奏好きが高じてヴァイオリンをここまで続け、今に至るまで「本当に好きだ、やっていてよかった」と思えることで生きることができています。

きょうは、そんなかけがえのない活動の集大成となるコンサートです。

ご高名な方の活動でも、ご本人がお亡くなりになると、おしまいになってしまうことがあります。この人は幸せ者です。彼の遺志を引き継いでくださる方がたくさんいらっしゃいます。ヴァイオリンを習いたいという子供たちも、相変わらず次から次にやってきます。

本日はお忙しい中、ようこそお越しくださいました。

小島秀夫という一人の音楽家が種をまき、水をやり、丹精込めて育てた花たちが一堂に会し、長い物語の第2章のページをめくります。

未来に向けての第一歩に、盛大な拍手を送っていただければ、幸いに存じます。

小島 燎



## 祝 辞

広島市長 松井 一實



「コジマ・ムジカ・コレギア第30回定期演奏会」及び「広島ジュニアオーケストラ第20回定期演奏会」の合同記念演奏会となる「青少年のためのオーケストラの祭典」が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

コジマ・ムジカ・コレギアは、小島秀夫先生を中心に1992年に発足した音楽普及活動であり、若い演奏家にプロオーケストラとの共演の機会を提供することを通して、文化振興と青少年の豊かな成長を願って活動してこられました。

また、広島ジュニアオーケストラは、「競争より協調を」という理念の下、1994年から子どもたちに楽器の演奏の楽しさを伝える活動を続けてこられました。

こうした活動は、本市が推進する「音楽のあふれるまちづくり」に資するものであるとともに、平和への思いを共有する「平和文化」の振興にもつながっていくものと考えています。

小島秀夫先生は、いつも子どもたちに多くの愛情を注ぎ、音楽を通じて友情を育て、そして、成長した多くの若い演奏家が国内外で活躍しているように、子どもたちの夢を育み、広島の音楽文化の向上に多大に寄与してこられました。御逝去の報に接し、改めてその熱意と御努力に深く敬意を表しますとともに、深く弔意を表します。この度の合同記念演奏会では、亡き小島秀夫先生の偉業を称え、今まで育ててこられた多くの演奏家が一堂に会するメモリアルコンサートとして、素晴らしい演奏を期待しております。

本日の演奏会の御盛会とコジマ・ムジカ・コレギア及び広島ジュニアオーケストラの今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 祝 辞

読売日本交響楽団コンサートマスター 長原幸太



本日は「青少年のためのオーケストラの祭典」の開催、誠におめでとうございます。そして、これが小島秀夫先生のメモリアルコンサートとしてコジマ・ムジカ・コレギアの第30回目、広島ジュニアオーケストラの第20回目を記念するコンサートになれるという事に感慨深いものを感じています。

長年広島の若い人たちに素晴らしい機会を与えてこられた秀夫先生の熱い想いを、ご長男の燎君が見事に受け継ぎ、秀夫先生の活動を更に発展していこうとされる姿勢にも感動しています。

今日のこのコンサートが素晴らしいものになります事を確信し、今後の益々のご発展を祈念しています。

## ご挨拶

指揮者 伊藤 翔



安佐北区(当時)の先生の御自宅へ伺い、初めて秀夫先生、朋子先生にお目に掛かった時のことは、今でもはっきりと覚えています。朋子先生は、生まれたばかりの燎さんを抱いておられました。

それから30年、いつかは訪れることとは言え、先生亡き後のメモリアルコンサートを指揮させて頂く日が来るとは、その時は夢にも思いませんでした。

当時、先生は広島交響楽団のコンサートマスターとして、大変お忙しい毎日を過ごしておられました。そしてその重責の中で、沢山の生徒さんを指導されておられました。ヴァイオリンを始めるにはやや遅すぎる年齢と言えた私も、その一人として暖かく迎えてくださり、ヴァイオリンのみならず、音楽家の基礎となる非常に多くのことを教えて下さいました。

また長年、コジマ・ムジカ・コレギアの活動を通して、若いソリストのためにコンチェルトの経験の場を提供され続けて来られたことは、広島のみならず、日本の音楽界にとって、非常に大きな貢献であったと思います。その恩恵をいただいた一人として、本日のメモリアルコンサートを、私たちが先生の御意思を引き継ぎ、音楽の普及と発展に貢献するための第一歩にしたいと思います。

燎さんはじめ、コレギアの皆様、各ソリストの皆様、広島ジュニアオーケストラの皆様・・・一同力を合わせて、天国の先生に届くよう、一生懸命に演奏させていただきます。

## ご挨拶

広島ジュニアオーケストラ 常任指揮者・団長 内山 忠



本日は、お忙しい中ご来場賜りまして誠にありがとうございます。広島ジュニアオーケストラとしては20回目の定期演奏会となります。この記念すべき会に、母体となるコジマ・ムジカ・コレギアと合同で、記念の演奏会を開催できます事を嬉しく思う反面、両オーケストラを創設された小島秀夫先生がご健在であったならどんなに喜ばれるだろうかと、残念に思う気持ちも同居しています。

第1部「広島ジュニアオーケストラ」のステージでは、一番下は3歳から、上は高校生までの現役メンバーに加えて、OB・OGを中心に、たくさんの皆さんに演奏に加わっていただき大編成で演奏します。中にはオーケストラ創設初期のメンバーもあり、久々に再会できた事を懐かしく、そしてその成長をたくましく思います。

秀夫先生、いつもの優しい笑顔で、天国から歴代の教え子たちの演奏を見守っててください。ご来場の皆さま、どうぞそんな歴史を感じていただきながら、最後まで子どもたちを応援いただければ幸いです。



## 青少年のためのオーケストラの祭典開催に寄せて

本日は演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。  
本演奏会は「青少年のためのオーケストラの祭典」と題し、それぞれ趣旨の異なる3部構成にてお届けいたします。各部の魅力を最後まで存分にお楽しみいただけますと幸いです。

名誉音楽監督である小島秀夫先生は、私たち2人にとって幼い頃から兄弟妹家族ぐるみでヴァイオリンを師事した恩師です。音楽の楽しさや厳しさ、オーケストラの魅力などたくさんのお話を教えていただいたおかげで、一生涯の趣味と大切な仲間に出会うことができました。心より感謝しております。

昨年5月の先生のご訃報に接し、少しでも恩返しをしたいとの思いで旧知の仲間が秀夫先生への想いを交わす「小島先生ありがとう!会」を夏に開催致しました。

そこには、秀夫先生が創立された「広島ジュニアオーケストラ」で伸び伸びと音楽を学んできた仲間、「コジマ・ムジカ・コレギア」での活躍の場を経て各方面でご活躍されている仲間が多くいらっしゃいました。秀夫先生がここ広島の地で次世代の育成にご尽力されてきたことの偉大さを改めて感じるとともに、これらの活動を途切れさせてはならないと強く感じる機会となり、この想いが本日の特別な演奏会の企画へとつながっております。

様々な立場の奏者が一堂に会した本日の演奏会ですが、秀夫先生の願いの通り、未来ある若者たちにとって将来に羽ばたくひとつのきっかけとなれば幸いです。

どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

「小島先生ありがとう!会」代表 仁井内淳・吉貞祥護



弦楽八重奏会inぶんぱく(2014年10月15日、於京都文化博物館別館ホール)

同年代の小島秀夫門下生である小島、仁井内、吉貞が関西の大学に集結したため、仲間と共にメンデルスゾーンなどの弦楽八重奏曲などの演奏会をしました。彼らの交友はその後も続き、関西などで演奏活動を続けています。

# プログラム program

## 第1部 広島ジュニアオーケストラ第20回定期演奏会 指揮/内山 忠

開演前 小さな子どもたちによるオープニング演奏

初心者による演奏 カノン 二長調(パッヘルベル/小島 秀夫編曲)

3つのドイツ舞曲K.605(モーツァルト)

第1曲 二長調 第2曲 ト長調 第3曲 八長調「そり滑り」

組曲「王宮の花火の音楽」HWV.351(ヘンデル)

第1曲 序曲 第2曲 プレー 第3曲 平和 第4曲 歓喜 第5曲 メヌエットI/II

## 休憩

## 第2部 コジマ・ムジカ・コレギア第30回定期演奏会 指揮/伊藤 翔

ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調K.216より第1楽章(モーツァルト)

ヴァイオリン/キビグスタド・エレン

マリンバと弦楽のための協奏曲(セジヨルネ)

マリンバ/東野 真梨絵

ハープ協奏曲変ホ長調Op.74より第1楽章(グリエール)

ハープ/宮武 佑名

ピアノ協奏曲第2番ヘ短調Op.21より第1楽章(ショパン)

ピアノ/益成 一葉

ピアノ協奏曲第5番ヘ長調Op.103「エジプト風」より第1・第3楽章(サン＝サーンス)

ピアノ/北川 綾音

## 休憩

## 第3部 小島 秀夫メモリアル演奏 指揮/伊藤 翔

交響曲第1番八短調Op.68(ブラームス)

演奏/小島 秀夫メモリアル特別編成オーケストラ



## 曲目解説

### 第1部

#### カノン ニ長調(パッヘルベル/小島秀夫編曲)

バロック時代の作曲家パッヘルベルによって作曲された曲です。広島ジュニアオーケストラでは定期演奏会で毎回演奏していて、私たちの代名詞とも言える思い入れのある曲です。

楽器を始めたばかりの子どもたちでも演奏できるよう小島秀夫先生によって編曲された楽譜があり、入団したばかりの幼い頃は、その楽譜を渡されます。幼い子たちはそれでも難しく、練習でも何度も迷子になりながら日々練習をしています。

少し大きくなると、少し難しい楽譜が渡されます。そこでついに憧れの、かの有名な旋律が演奏できる事になります。その時、私もホントに嬉しい気持ちになりました。ベースを奏でる裏の立役者のチェロ・コントラバス・スピネット(チェンバロのような楽器)、ピツィカートで曲の流れを作るヴィオラ、そして美しく艶やかな旋律を奏でるヴァイオリン。

私たちは何度も何度もこの全部の楽器で美しい音を奏でるために、音色を常に意識して、日々練習してきました。どうぞ目をつぶり、私たちの奏でるハーモニーを存分にお楽しみください。 ヴァイオリン 雑賀 茉奈(高1)

#### 3つのドイツ舞曲 K.605(モーツァルト)

この曲は1791年に、かの有名なモーツァルトによって作曲されました。モーツァルトはこの曲以外にもたくさんの舞曲を作曲しており、彼自身も踊ることが好きだったそうです。

小島秀夫先生が『このドイツ舞曲は“舞曲”とは言っても宮廷で踊るような優雅な舞曲ではなく、一般市民が楽しく踊るための曲だから、元氣よく演奏しよう!』と仰っていた事を思い出します。

ちょうど、本日この曲の後で演奏する組曲「王宮の花火の音楽」の第5曲が「メヌエット」と言って宮廷で踊る“舞曲”なので、聴き比べていただければお分かりになると思います。

「3つのドイツ舞曲」という名の通り3つの曲があり、中でも3曲目の「そり滑り」が有名です。ですが実は、そり滑りと他の2曲の様相が大きく異なるため、そり滑りは後から追加されたという説があります。馬ぞりにつけられるベルを模して、曲中にハンドベルが出てきます。ハンドベルは、小さな子どもたちが演奏します。

この曲のハンドベルは少し難しいため、早い子は昨年12月から、遅い子でも3月から練習を始め、半年以上かけてしっかり準備をしてきました。大きな舞台に立つのが初めての子も多く、少し緊張しているかもしれませんが、私たちが後ろで演奏しているので安心してハンドベルを演奏してね。

皆さま、かわいい子どもたちが一生懸命にハンドベルを振る姿に癒されてください。そして、たくさんの拍手をいただくとハンドベルの子どもたちも頑張れると思いますので、登場して来た時には、ぜひ大きな拍手をよろしくお祈いします!

ヴァイオリン 宮谷 紗和(高1)

#### 組曲「王宮の花火の音楽」HWV.351(ヘンデル)

この曲は、1.序曲 2.ブレー 3.平和 4.歓喜 5.メヌエットの5曲で構成されています。1748年にオーストリア継承戦争終結のために開かれた、アーヘンの和議を祝う祝典のための花火大会の音楽として作曲されました。この和議の内容はイギリスにとって好ましいものではなかったことから、国王ジョージII世は国民の失意をそらすため、ヘンデルに管楽器と打楽器だけで盛大な曲を、と作曲を依頼しました。

はじめはオーボエ24本、ファゴット12本、コントラファゴット1本、ホルン9本、トランペット9本、ティンパニ3対という構成でしたが、実際の初演ではさらに増え、花火が打ち上げられる前後には、軍楽隊による大編成で盛大に演奏されました。ロンドンでの公開リハーサルでは1万2千人の観客を集め、ロンドン橋で交通渋滞を引き起こしたと伝えられています。そのおよそ1か月後に孤児養育院で開かれた慈善演奏会で、本日演奏する弦楽器併用版に手直しして披露されました。広島ジュニアオーケストラの創設者である小島秀夫先生は、私たちが学ぶのに最適だと、これまでも何度もこの曲を採り上げてくださっています。

2011年に、先生の70歳を祝うバースデーコンサートとして開かれた広島ジュニアオーケストラ第10回定期演奏会とコジマ・ムジカ・コレギア第21回定期演奏会との合同演奏会でも、この曲を演奏しました。私たち広島ジュニアオーケストラにとって、思い出のある曲です。

今回の演奏会では、小島秀夫先生が使われていたスコア(全楽器の楽譜が書いてある指揮者用の総譜)を見て、そこに秀夫先生自身が書き込みされた事やボウイングなどを、内山先生を中心に私と上級生たちで研究して練習してきた成果を披露します。

秀夫先生から直接教えていただいた団員も少なくなっている現在の広島ジュニアオーケストラですが、小島燎先生や小島朋子先生、内山先生のご指導の中に秀夫先生の思いを感じ練習を続けています。

音楽を通して秀夫先生の教えであったりお人柄であったりを感じていただければと思います。 ヴァイオリン 尾崎 さくら(高2)

### 第2部

#### ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調K.216より第1楽章(モーツァルト)/キビグスタド・エレン

ヴァイオリン協奏曲第3番ト長調 K.216はオーストリアの作曲家、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトが1775年にわずか19歳で作曲したヴァイオリン協奏曲です。オーケストラの奏でる爽やかな第1主題は曇り一つない晴れやかな旋律です。青年期の作品らしい清涼さも感じますが、美しく気品に満ち溢れた素晴らしい楽章です。一つ一つの音符を、夜空に輝く星のように大切に演奏したいです。

#### マリンバと弦楽のための協奏曲(セジオルネ)/東野 真梨絵

フランスのパーカッショニスト兼作曲家、エマニュエル・セジオルネ(1961-)が、2006年のリンツ国際マリンバコンクール本選の課題曲として作曲した、マリンバと弦楽オーケストラによって奏でられる協奏曲です。第1楽章の冒頭は、どこか懐かしさを感じる情緒的な音楽で始まり、次にマリンバのカデンツァに繋がり、次第に静かな情熱が高ぶって行く様なメロディです。第2楽章は、スペインのフラメンコを彷彿させる力強いリズムで始まり、中盤ではストリングスの刻みに合わせて、まるで風となったマリンバが草原の中で歌っている様なメロディがある、美しい曲です。打つと音が出るマリンバですが、様々な表情の音色を奏で、移り変わる情景を表現し、まるで映画を見ているかの様に楽しんで頂ける演奏にしたいと思います。

#### ハーブ協奏曲変ホ長調Op.74より第1楽章(グリエール)/宮武 佑名

レインゴリト・グリエール(1875-1956)のハーブ協奏曲作品74はロシアの作曲家によって書かれた最初のハーブ協奏曲であり、最も頻りに演奏された作品の一つです。ソロパートを書くにあたり、グリエールはロシアのハーブ奏者クセニア・エルデリーにアドバイスを求めました。彼女の援助のおかげで、グリエールは多くのハーブ特有のテクニックを巧みに使いこなすことができました。その技術に関して言えば、非常に厳しい要求がされますが、同時に楽器に対する敬意を表したのもでもあります。第1楽章は、伝統的なソナタ形式でありながら、夢のようなロマン主義の雰囲気を感じさせます。そして、冒頭の壮大なアルペジオが特徴的でハーブの良さが最大限に伝わり、聴いている人を幸せな気持ちにさせる曲だと感じています。

#### ピアノ協奏曲第2番ヘ短調Op.21より第1楽章(ショパン)/益成 一葉

いつかオーケストラと共演できる機会があったら演奏したいと思っていた曲です。一昨年、日本人が入賞して話題となったショパン国際ピアノコンクールのファイナル審査の課題曲としても有名です。「ピアノの詩人」と呼ばれているショパンは、ピアノ協奏曲を2曲作っていますが、実はこの第2番の方が先に作曲されています(作品番号は出版順)。そのため、より初々しい気分が溢れています。初恋の人への片思いに悩む青年(19歳)ショパンの非常に繊細で優雅でロマンティックな旋律とハーモニーが魅力的な作品です。胸が痛くなるほど甘く悲しい旋律は何とも言えない気持ちになります。中間部に出てくるショパンらしいピアノ独奏もお楽しみください。

#### ピアノ協奏曲第5番ヘ長調Op.103「エジプト風」より第1・第3楽章(サン=サーンス)/北川 綾音

シャルル・カミーユ・サン=サーンス(1835-1921)は、フランスの作曲家です。旅行好きとして知られており、この「エジプト風」も実際にエジプトに滞在した際に書かれています。エジプトの要素が色濃く表れているのは第2楽章ですが、本日は第1,3楽章を演奏します。第1楽章Allegro animatoは、爽やかな第一主題と哀愁漂う第二主題が印象的な楽章です。展開部では不穏な雰囲気になりますが、最後は穏やかに楽章を終えます。第3楽章Molto allegroは、エネルギーで技巧的な楽章です。サン=サーンス自身が「航海の楽しみ」と表現しており、全曲の締めくくりには喜びが爆発したように感じられます。一度聴いて虜になった曲なので、みなさんにも気に入ってもらえたら嬉しいです。

(それぞれソリスト本人による)

### 第3部

#### 交響曲第1番ハ短調Op.68(ブラームス)

ブラームスの最初の交響曲は言わずと知れた傑作ですが、完成に20年以上の年月を要したことで有名です。この曲が作られた1876年の20年前、1850年代はシューベルトやチャイコフスキーが交響曲を作曲し、交響曲創作への期待が高まった時期でした。この風潮の中でブラームスは交響曲の作曲及びベートーヴェンの後継者たることを期待されており、自身もベートーヴェンに比肩するものを書かなければならないと考えていました。ベートーヴェンへの強い意識は、あの有名な交響曲第5番と同じハ短調という調性や、苦悩に満ちた短調から祝福に包まれた長調へ向かう「闇から光へ」の構図、また終楽章の祝福の音楽が「歓喜の歌」を思わせることから窺えます。友人に宛てた手紙では、「ベートーヴェンという巨人が背後から行進して来るのを聞くと、とても交響曲を書く気にはならない」と書いていました。偉大なベートーヴェンの影と大きなプレッシャーの中で悩み、推敲に推敲を重ねてついに書き上げたこの曲は、初演当時こそ賛否両論はあったものの時代を超えて私たちの心を強く打つのです。小島秀夫先生はブラームスがお好きで2011年のバースデーコンサートでは交響曲第3番を選んで指揮されました。本日演奏する第1番には第2楽章に美しいヴァイオリンソロがあり、得意とされていたそうです。

第1楽章 Un poco sostenuto - Allegro/第2楽章 Andante sostenuto/第3楽章 Un poco allegretto e grazioso  
第4楽章 Adagio - Più andante - Allegro non troppo, ma con brio - Più allegro

(竹中幸音)



## 第1部 出演者

### 広島ジュニアオーケストラ

NHK交響楽団や広島交響楽団で長年活躍し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団での演奏経験を持つ故・小島秀夫が広く青少年育成に関わることを願い、1994年に広島ジュニアオーケストラの前身となる「コジマ・ムジカ・コレギア アマチュア合奏団」を発足。月2回練習を行い、「コジマ・ムジカ・コレギア」の定期演奏会にも参加。1998年、名称を改め「広島ジュニアオーケストラ」とし、正式に発足。以後、毎週練習を行い、本格的に活動を開始した。

2001年に第1回目の演奏会を開催。2017年までは毎年、それ以降は2年に1回開催し、2021年までに19回の定期演奏会を行う。今回が、20回目の記念演奏会となる。楽器をはじめたばかりの子どもでもステージに立てるようにと、創設者の小島秀夫がアレンジして演奏に参加できるようにするなど、最年少では3歳から定期演奏会のステージを踏んでいる。プログラムは、ヘンデルやバッハをはじめとするバロックから、アンダーソンやハチャトゥリアン、マーラーなど近代までの幅広い作曲家を採り上げ演奏している。また、ゲスト団体を迎えて共演するなど、活発な活動を行っている。

定期演奏会の他、広島国民文化祭(2000年)、広島平和芸術週間~HAPeace(2004年)、慰霊のタベコンサート(2006年)、第九ひろしま(2012年)をはじめ、多数の依頼演奏も行っている。

「競争」より「協調」を」という、名誉音楽監督の小島秀夫の理念のもと、大きい子から小さい子まで学年の壁を越え、また門下や学校の壁を越えて、現在、約30名が仲良く学んでいる。



### 内山 忠

山口県生まれ。広島ジュニアオーケストラには、現在の名称へ改名した1998年から関わる。当時、まだ確立されていなかった組織作りの中心となり、現在の運営体制を作った。

2001年春、音楽監督の小島秀夫氏より「定期演奏会実行委員長」を命ぜられ、事務局長の小島朋子氏と共に定期演奏会の立ち上げに尽力、第1回定期演奏会を成功に導く。それを機に翌年、団長に任命される。音楽監督より、2006年11月に初代副指揮者へ、2017年10月に2代目常任指揮者へ任命される。

当団に関わる以前は9年にわたり、指揮者の故・佐藤正二郎氏の下で「本物の音楽」「生きた音楽」を演奏者の一員として学ぶ。また、同氏より指揮法の指導を受ける。指揮法のバイブルと言われる故・齋藤秀雄氏直伝の本物の指揮法レッスンは貴重な経験であり、その後の音楽活動の基礎となる。

指揮：内山 忠 / コンサートミストレス：尾崎 さくら(高2)

### 団員

- ヴァイオリン**  
 三上 稜久(年長)  
 キビグスタド・エレン(小1)  
 松澤 文香(小1)  
 森 心彩(小1) ✓  
 森本 有紀(小1) ✓  
 芥 香澄(小3) ✓  
 宝大寺 陽斗(小3)  
 岸上 依央(小4)  
 久保 惇生(小4)  
 四宮 葵(小4)  
 武部 愛(小4)  
 福原 光穂(小4)  
 三善 玄登(小4)  
 吉本 雪乃(小4) ✓  
 石田 眞子(小5)  
 甲斐 蒼大\*(小5)  
 濱本 慶信(小5)  
 三浦 耀己\*(小5)  
 芥 彩葉(小6)  
 原澤 幸和(小6)  
 三善 由結(小6)  
 石田 絢子(中2)  
 武田 颯希(中2)  
 甲斐 よし乃\*(高1)  
 桑原 弥柚(高1)  
 雑賀 茉奈(高1)  
 宮谷 紗和(高1)  
 尾崎 さくら(高2)  
 浜原 史香\*(高2)  
 益田 悠乃花\*(高2) 30
- チェロ**  
 谷川 脩斗(小6) /
- ハンドベル**  
 大塚 詩栞(年少)  
 九里 美蘭(年少)  
 橋本 善(年少)  
 濱本 代(年少)  
 福元 礼華(年少)  
 杉山 沙亜良\*(年中)  
 河内 壮介(年長)  
 九里 蓮恩(年長)  
 大塚 柚凜(小1)  
 森 心彩(小1) ✓  
 森本 有紀(小1) ✓  
 古賀 朱莉(小2)  
 芥 香澄(小3) ✓  
 濱本 ほの(小4)  
 吉本 雪乃(小4) ✓ 11

### OB・OG

- ヴァイオリン**  
 大友 明帆(大1)  
 ✓ 坂 直(大2)  
 ✓ 井山 京香(大3)  
 ✓ 重森 玄貴(大院1)  
 有田 悠花  
 ✓ 川辺 梓  
 ✓ 栗栖 佑佳  
 ✓ 小島 燎  
 ✓ 小林 杏成  
 ✓ 仁井内 淳  
 仁井内 健  
 毛利 慎一郎  
 ✓ 吉貞 祥護
- ヴィオラ**  
 谷川 凜香(大1)  
 ✓ 吉竹 千彰
- チェロ**  
 仁井内 さくら
- フルート**  
 ✓ 松本 嘉樹
- オーボエ**  
 ✓ 柴田 えり
- クラリネット**  
 ✓ 本田 佳奈  
 ✓ 本田 久美
- 打楽器**  
 ✓ 櫻井 彩結

名誉総監督・名誉音楽監督・名誉指揮者  
 小島 秀夫

団長・常任指揮者  
 内山 忠

副指揮者  
 小島 燎

事務局長  
 小島 朋子

弦楽器講師  
 伊藤 哲次  
 新谷 愛子  
 宮本 隆一

管楽器講師  
 本田 久美

### 賛助出演

- ヴァイオリン**  
 ✓ 竹中 幸音(大2)  
 杉山 彩  
 山口 拓也
- ヴィオラ**  
 ✓ 金子 享平  
 ✓ 新谷 愛子  
 ✓ 田中 亮伍  
 ✓ 藤井 聡  
 前田 睦子  
 ✓ 増田 喜代
- チェロ**  
 ✓ 池田 知愛  
 ✓ 伊藤 哲次  
 ✓ 佐藤 陽一  
 ✓ 宮本 隆一  
 ✓ 向井 真帆
- コントラバス**  
 ✓ 石川 徹  
 ✓ 石田 達郎  
 ✓ 渡邊 美穂
- フルート**  
 ✓ 下田 薫
- オーボエ**  
 ✓ 土井 嘉音
- ファゴット**  
 ✓ 沖永 真澄  
 ✓ 中村 由紀  
 ✓ 宮武 栄明
- ホルン**  
 ✓ 折坂 裕子  
 ✓ 佐々田 裕美  
 ✓ 藤原 さよ  
 ✓ 吉田 尚史
- トランペット**  
 ✓ 三島 明子  
 ✓ 村上 俊也
- トロンボーン**  
 ✓ 福原 恭平  
 ✓ 山根 智子
- 打楽器**  
 ✓ 伯谷 英泰
- 鍵盤楽器**  
 重野 友歌 32

\*しまなみジュニアオーケストラ団員(姉妹団体)



## 第2部 出演者

### 伊藤 翔

桐朋学園大学指揮科卒業。ローム音楽財団の奨学金を得てウィーン国立音楽大学へ留学。指揮を秋山和慶、小澤征爾、黒岩英臣、E・アチェル、湯浅勇治、K・マズアの各氏に師事。

第5回ルトスワフスキ国際指揮者コンクール第2位。第1回ニーノ・ロータ国際指揮者コンクール第1位、及びオーケストラ賞を受賞。第26回エネルギー音楽賞受賞。

これまでに大阪フィル、大阪響、神奈川フィル、九州響、京都市響、群馬響、新日本フィル、仙台フィル、都響、中部フィル、東京シティ・フィル、東京フィル、東響、名古屋フィル、日本センチュリー響、日本フィル、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団、広島響、山形響等に客演。海外では、ジェショフ・フィルハーモニー管弦楽団やアブルツツェ交響楽団への客演が好評を博す。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員、神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスを歴任。また合唱指揮者として2017、2018年NHK交響楽団の公演を成功に導いた。

コジマ・ムジカ・コレギアの定期演奏会には、学生時代に2度ピアノソリストとして出演。また2013年より指揮を担当。小学及び中学時代にヴァイオリンを故・小島秀夫氏に師事。

2023年4月より東邦音楽大学非常勤講師。



© K.Miura



©Jun Yoshimura



### キビグスタド・エレン

2016年6月生まれ、4歳のときよりヴァイオリンを始める。第16回ベーテン音楽コンクール全国1位。第44回子供のためのヴァイオリン・コンクール in 刈谷 金賞ならびに刈谷市教育委員会賞受賞。第23回からし種コンサート出演。第10回しまなみ音楽祭参加。ヴァイオリンを小島燎氏に師事。現在AIS愛知インターナショナルスクール1年次在学中。

### 東野 真梨絵

7歳よりマリンバを始める。8歳より広島ジュニアマリンバアンサンブル選抜メンバーとして、国内各地での演奏活動を始め、2019年アメリカ・ハワイ、2019年カンボジアで、海外での平和コンサートや音楽親善コンサート、チャリティーコンサート、国際交流などの演奏活動に多数参加。2018年「第2回安倍圭子国際ジュニアマリンバ音楽祭 in 広島」において、国際的マリンバ演奏家・安倍圭子氏と共演。浅田三恵子氏に師事。現在広島女学院中学校3年生。



### 宮武 佑名

広島市出身。4歳よりピアノを、12歳よりハープを始める。第22回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門ハープジュニア、ファイナル入選、第23回大阪国際音楽コンクール弦楽器部門ハープシニア、ファイナル入選。2022年谷野みき子バレエスクール第6回発表会にてバレエと共演。これまでにハープを摩数意英子、宮内邦枝の各氏に、ピアノを大井伸子氏に師事。現在広島修道大学ひろしま協創高校2年生。



### 益成 一葉

1歳の誕生日にヤマハ音楽教室入会。9歳よりピアノ教室「アルコバレーノ」にて本格的にピアノを始める。第22回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA コンチェルトAB部門アジア大会金賞・コンチェルト賞。第23回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 中学生部門オンラインアジア大会金賞・ソリスト賞。第46回ピティナピアノコンペティション全国決勝大会E級金賞。重野美樹、重野友歌、赤松林太郎の各氏に師事。現在広島なぎさ中学校3年生。



### 北川 綾音

広島市出身。6歳よりピアノを始める。第21回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA高校生部門にてアジア大会出場。第12回ショパン国際ピアノコンクール・ハートフォード Young Artist部門第4位。務川慧悟氏のマスタークラス、青柳いづみこ氏の公開レッスンを受講。これまでにピアノを岡野直美、小髙寛二の各氏に師事。現在エリザベト音楽大学に特別奨学生として在学中。





## コジマ・ムジカ・コレギア

1992年、当時広島交響楽団首席コンサートマスターであった小島秀夫が、故郷・広島に青少年育成と音楽文化振興を目指した活動として、コジマ・ムジカ・コレギア(ラテン語で「小島秀夫と音楽仲間」の意)を設立。今日まで、主に3つの企画を中心に活動を展開してきた。

1つ目は1993年より30回にわたって開催してきた、若手音楽家にプロオーケストラとの共演の機会を与えることを目的とする「定期演奏会」。広響メンバーや広島のフリーランス奏者によるオーケストラを編成し、小島秀夫の指揮・指導のもと、ヴァイオリン・チェロ・ピアノ・管楽器・マリンバ・ハープ・独唱・合唱などの若手音楽家のべ約200人のオーケストラ・デビューを演出。国際コンクール優勝者等、国内外の舞台上で活躍する逸材も数多く輩出した。

2つ目は1994年発足の「コジマ・ムジカ・コレギア アマチュア合奏団」を前身とする「広島ジュニアオーケストラ」。音楽を愛する子どもたちのために、合奏教育を重んじる小島秀夫が完全ボランティアで指導する形で発足し、毎週日曜日の練習、夏合宿、定期演奏会等を中心に活動を継続している(詳細は10ページ参照)。

3つ目は1999年発足の「室内楽の会」を前身とする室内楽セミナー活動。2004年に「HIROSHIMA MUSIC FESTIVAL」、2013年に「しまなみ音楽祭/5月の尾道音楽学校」と改称。地方都市では経験する機会の少ない室内楽を、全国第一線で活躍する講師陣と共演しながら学ぶことのできる稀有な形の講習会として、現在では毎年70名を超える受講生を迎えている。

2021年、一般社団法人コジマ・ムジカ・コレギアとして法人化。これまでの活動の継続と発展に加え、国際音楽祭「しまなみ海道・秋の音楽休暇村」を毎年秋、尾道市において開催。小島燎プロデュースのもと、島嶼部の地域活性化、日欧の若手音楽家の交流、音楽と他分野のアートの融合、地元のアーティストや音楽学生の活動促進などを目的としており、2023年10月28日～11月5日に第4回目を開催予定。



## コジマ・ムジカ・コレギア オーケストラメンバー (小島秀夫メモリアル特別編成オーケストラ)

指揮：伊藤 翔／コンサートマスター：小島 燎

### ヴァイオリン

- 井山 京香／広島大学教育学部音楽文化系コース在学中。元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。過去にソリスト出演。  
小野本 福子／東京藝術大学卒。(公財)九州交響楽団団員。元門下生。第1回定期演奏会を含め、計2回ソリスト出演。  
川 辺 梓／くらしき作陽大学卒業。広島交響楽団客演などフリーで活動中。元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。過去にソリスト出演。  
北田 千尋／桐朋学園大学大学院卒。仙台国際音楽コンクール第4位。カルテット・アマビレのメンバーとしても活躍中。過去にソリスト出演。  
栗栖 佑佳／エリザベト音楽大学卒。元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。過去にソリスト出演。東京を拠点に活躍中。  
小島 燎\*／フランス国立オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ管弦楽団副コンサートマスター。元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。過去にソリスト出演。  
小林 成\*／東京藝術大学卒。東京交響楽団コンサートマスター。元門下生。広島ジュニアオーケストラOB。過去にソリスト出演。  
坂 直／大阪大学外国語学部在学中。元門下生。第24回および第29回定期演奏会にソリスト出演。  
重森 玄貴／広島大学大学院音楽文化教育学領域在学中。元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。過去にソリスト出演。  
白井 朝香／エリザベト音楽大学卒。ヴァイオリン及びシター奏者として国内外で活躍中。宮島観光大使。  
高旗 健次／広島大学大学院教授。ドイツ国家演奏家資格取得。イザイの無伴奏ソナタ全6曲CD収録(レコード芸術特選盤)。第2回定期演奏会にてソリスト出演。  
竹中 幸音／大阪大学外国語学部在学中。元門下生。しまなみ音楽祭/しまなみ海道・秋の音楽休暇村に参加。大阪大学交響楽団コンサートミストレス。  
仁井内 淳／元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。学生時代、立命館大学交響楽団でコンサートマスターで活躍。関西にて仲間と音楽活動中。  
西山 夏末／広島大学大学院卒。現在音楽の教師として高等学校に勤務。しまなみ音楽祭/しまなみ海道・秋の音楽休暇村に参加。  
野村 紀子／エリザベト音楽大学修士課程を首席で修了。コジマ・ムジカ・コレギアのオーケストラメンバーを長年務める。ノートルダム清心弦楽部クラブコーチ。

福澤 かをり／国立音楽大学卒。広島交響楽団団員。長年小島秀夫の隣で演奏。

- 宮崎 真理子／広島大学卒。フリー奏者として活躍中。コジマ・ムジカ・コレギアのオーケストラメンバー。弓室内合奏団、しまなみ音楽祭などに参加。  
山名 玲奈／桐朋学園大学卒。元門下生。全日本学生音楽コンクール第1位。第1回定期演奏会を含め、計2回ソリスト出演。しまなみ音楽祭講師。  
吉貞 祥護／元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。過去に2回ソリスト出演。学生時代、京都大学交響楽団でコンサートマスターを務める。

### ヴィオラ

- 金子 享平／大阪大学大学院文学研究科卒。学生時代、大阪大学交響楽団でコンサートマスターとして活躍。しまなみ音楽祭等に参加。  
新谷 愛子／大阪音楽大学卒。元広島交響楽団団員。コジマ・ムジカ・コレギアのオーケストラメンバー。小島秀夫のヴァイオリン教室「弓の会」講師。  
高村 明代\*／東京藝術大学卒。京都市交響楽団副首席ヴィオラ奏者。過去にしまなみ音楽祭に講師として参加。  
田中 亮伍／学生時代、神戸大学交響楽団でコンサートマスターとして活躍。しまなみ音楽祭等に参加。しまなみジュニアオーケストラ臨時講師。  
富島 尚倫／武蔵野音楽大学卒。コジマ・ムジカ・コレギアのオーケストラメンバー、広島ジュニアオーケストラの賛助出演等を長年務める。  
藤井 聡／くらしき作陽大学卒。現在、福岡市内にて音楽科の学校教諭として勤務。  
増田 喜代／国立音楽大学卒。広島交響楽団への客演のほか、コジマ・ムジカ・コレギアのオーケストラメンバーを長年務める。広島室内楽協会所属。  
吉竹 千彰／武蔵野音楽大学卒。元門下生。広島ジュニアオーケストラ卒団生。現在フリーランスで活動中。

### チェロ

- 池田 知愛／京都大学交響楽団出身。北九州グランフィルハーモニー管弦楽団所属。しまなみ音楽祭/しまなみ海道・秋の音楽休暇村に参加。  
伊藤 哲次／国立音楽大学卒。広島交響楽団団員。コジマ・ムジカ・コレギアのすべての活動に発足時より講師、奏者として協力。  
熊澤 雅樹\*／桐朋学園大学アンサンブル・ディプロマ修了。広島交響楽団チェロ奏者。2011年よりコジマ・ムジカ・コレギアのオーケストラメンバー、しまなみ音楽祭講師を務める。  
佐藤 陽一／作陽音楽大学卒。フリーランス奏者。しまなみ音楽祭参加。演奏活動の傍ら学生オケの指導に情熱を注いでいる。  
宮本 隆一\*／東京音楽大学卒。はつかいち弦楽合奏団「SA・KU・RA」団員。しまなみジュニアオーケストラ指導講師。  
向井 真帆／愛知県立芸術大学大学院卒業。広島交響楽団客演など、広島を拠点に演奏活動を行う。第25回定期演奏会ソリスト出演。  
吉田 正子／ハノーファー国立音楽大学卒。フリーランス奏者。過去にコジマ・ムジカ・コレギアの室内楽コンサートに参加。

\*首席奏者

2017年9月1日 コジマ・ムジカ・コレギア第27回定期演奏会より 指揮：伊藤 翔 ヴァイオリン：吉貞 祥護



## コントラバス

石川 徹\* / 小島秀夫と同時期に暮らし作陽大学で教鞭を執る。HIROSHIMA MUSIC FESTIVALに講師として参加。長岡京室内アンサンブルのメンバーや国内各オーケストラの客演首席として活躍中。

田中 由加 / エリザベト音楽大学卒。はつかいち室内合奏団「SA・KU・RA」所属。ライフワンミュージック講師。

守谷 みさき / エリザベト音楽大学卒。しまなみ音楽祭等に参加して研鑽を積む。フリー奏者として活動中。

渡邊 美穂 / エリザベト音楽大学卒。エリザベト附属音楽園講師。はつかいち室内合奏団「SA・KU・RA」所属。

\*首席奏者

## フルート

下田 薫 / エリザベト音大卒。各地で後進の指導、演奏活動を行っている。

広岡 真紀 / 島根大学教育学部(特音)卒。広島ウインドオーケストラ首席奏者。

松本 嘉樹 / 広島ジュニアオーケストラ卒団生。今回で出演20回目。山口大オケ出身。

## オーボエ

土井 嘉音 / 東京藝術大学卒。現在フリーで活動中。第29回定演ソリスト。

柴田 えり / 広島ジュニアオーケストラ卒団生。広島文化短大卒。元広島消防音楽隊団員。

## クラリネット

本田 佳奈 / 広島ジュニアオーケストラ卒団生。武蔵野音大卒。尚美ディプロマ修了。録音専門オケgaQdan団員。

本田 久美 / 島根大学教育学部(特音)卒。島村楽器講師。広島ジュニアオーケストラ管楽器講師。

## ファゴット

中村 由紀 / エリザベト音大大学院修了。広島交響楽団元契約団員。過去に定演ソリストで参加。

沖永 真澄 / 広島文化短大専攻科修了。アーツ楽器講師。くららジュニアオーケストラ講師。2004年コンチェルトのつどいソリスト。

宮武 栄明 / 聖徳学園岐阜教育大学中等音楽専攻卒。さくらびあ市民オペラ管弦楽団団員。

## ホルン

吉田 尚史 / 国立音大卒。ノルト・ブラバント音楽院卒。広島ウインドオーケストラ首席奏者。

藤原 さよ / 作陽音楽短期大卒。岡山フィルハーモニック管弦楽団団員。

佐々田 裕美 / エリザベト音大卒。広島ウインドオーケストラ団員。あおぞら金管合奏団団員。

折坂 裕子 / 広島文化短大専攻科修了。2004年コンチェルトのつどいソリスト。

## トランペット

三島 明子 / 広島大学教育学部音楽教育学専修卒。広島ウインドオーケストラ団員。

村上 俊也 / エリザベト音大大学院修了。広島ウインドオーケストラ団員。あおぞら金管合奏団団員。

## トロンボーン

福原 恭平 / 広島文化短大卒。広島ウインドオーケストラ団員。広島文化学園大学非常勤講師。

山根 智子 / エリザベト音大卒。同大学付属音楽園トロンボーン講師。

加藤 陽介 / 広島大学卒。カールスルーエ音大卒。広島ウインドオーケストラ団員。

## 打楽器

伯谷 英泰 / エリザベト音大卒。広島ウインドオーケストラ団員。あおぞら金管合奏団団員。HOCミュージックグループ講師。

櫻井 彩結 / 小学校教員。広島ジュニアオーケストラ卒団生。

## 小島秀夫の生涯

1941年8月13日広島市南区東雲町生まれ。3歳で原爆に遭う。飛行機好きな少年は飛来してきたB29を見るために、家族全員を家から連れ出し、爆風で飛散した窓ガラスから一家を守る。ラジオから流れる演歌や流しのギターに憧れ、なんでもよいから楽器がしたいと望むも叶わず、見かねた5歳年上の兄が道具箱に針金を張って楽器を作ってくれた。数年後、小学校の先生よりヴァイオリンを薦められ、8歳よりヴァイオリンを田中敬氏の下で始めた。練習は嫌いで一時中断したものの、中学3年から再開し、広島音楽高等学校に入学。以後は日夜、猛烈な練習を積み、17歳の時、辻久子氏の代役として広島放送管弦楽団(広響の前身)とメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲を共演。この頃、故・齋藤秀雄氏より桐朋学園入学を薦められる葉書を頂戴するも、齋藤秀雄氏の名前も桐朋学園の名前も知らず、1960年、武蔵野音楽大学へ入学。当時の武蔵野音楽大学は最先端の指導者を迎えており、福元裕、ヴォルフガング・シュタフォンハーゲンの各氏に師事する。目から鱗の鮮烈な指導の下、三畳の下宿で1日10時間以上の修行を積む。

1964年、同大学卒業前、読売日本交響楽団の第一回定期演奏会にエキストラ出演し、入団を検討したが、師の薦めにより、NHK交響楽団の入団試験をショーソンの「詩曲」で受け採用される。当時の花形コンサートマスターであった海野義雄氏や名教師であった故・江藤俊哉氏の指導も受け、第二ヴァイオリンの末席より、コンサートマスターの臨席まで昇格を果たす。1970年、単身横浜港よりナホトカを経由し、シベリア鉄道を乗り継いでベルリンに留学。当時の円は360円時代、厳しい留学時代であった。ベルリン国立音楽大学室内楽科に入学し、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第一コンサートマスターのレオン・シュピーラー氏に師事すると共に、カラヤン全盛時代のベルリン・フィルで一年間、コンサートやレコーディングに出演する。「壁」のある時代のベルリンで奮闘し、ベルリン・フィルより入団の可能性も提示されるものの、N響に戻ることを選んだ。

帰国後の1972年、東京文化会館にてデビューリサイタルを開催、大成功をおさめる。以来各地で活発なソロ活動を行うと同時に、室内楽の分野においても、N響メンバーによる「高輪弦楽四重奏団」を結成し、テレビやラジオ(FM)などに多数出演。バルトークやベートーヴェンなどの弦楽四重奏曲に次々挑戦し、オーケストラの練習の合間に10分の隙間も逃さず研究、研鑽を積んだ。その演奏は当時の新聞や音楽雑誌で絶賛される。また、NHK交響楽団の定期公演で伝統となっている開演前のロビーコンサートの第二回目の演奏を担当し、後に広島交響楽団に持ち込み長年継続した。N響では、ヨーロッパ公演やアメリカ公演のほか、南米や中国、アジア諸国、オセアニアなど世界各国の公演に同行した。



高輪弦楽四重奏団

広島交響楽団とは17歳の時の初共演をはじめ、N響在団中より度々ゲストコンサートマスターやソリストとして共演し、地元へのUターンと正式入団を強く求められる。当時札幌交響楽団や大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などからもコンサートマスターとしての就任依頼があったが、地元広島の文化発展に貢献したい思いが強く、1980年、プロ化間もない広島交響楽団の首席コンサートマスターとして帰郷。就任後最初の定期演奏会で、リムスキー=コルサコフの交響組曲「シェエラザード」のヴァイオリンソロを披露した。



当時、故・渡邊暁雄氏の音楽監督就任により急成長時代にあり、氏と共に広響支援活動(街頭演奏など)に奔走しつつ、弦楽器を中心とした演奏のレベルアップに大きく貢献した。ソリストとしても、渡邊暁雄、外山雄三、山本直純、高関健、宇宿允人などの指揮者、また広響をはじめとする各地のオーケストラと共演。作曲家でありNHK交響楽団正指揮者であった故・外山雄三氏にはN響時代より懇意にいただき、就任祝いとして献呈された「ヴァイオリン協奏曲第3番」を氏の指揮により広響定期演奏会にて初演。氏には、その他ヴァイオリンとピアノの為の「廣島の詩」も献呈される。1981年8月、交通事故に遭い、腕の骨折など全治半年の重傷を負う。ギプスが外れて間もない翌年2月に、広響定期演奏会にて岩崎洸氏とのブラームスの二重協奏曲のソリストを務める。1989年、10年にわたる広響での業績と地方文化への貢献を認められ広島県より「県民文化奨励賞」を受賞した。第3代音楽監督・高関健氏とその後の急発展期を担い、1991年、市民の募金と当時の広島総合銀行、また光井安子女史等の多大なる尽力により実現した広響初の海外公演「ウーン・プラハ公演」にコンサートマスターとして同行するなど、18年間にわたりその重責を果たした。



1989年、当時個人のホール設立で話題を呼んだゲバントホールに於いて企画を任せられ、「コジマゲバントホールアンサンブル」を結成し10数回に及び様々な演奏会を企画した。また、1990年、サントリーホール開館4周年記念ガラコンサート「響」に出演。更に、1993年に発足した「コンサートマスターズクラブ・オブ・ジャパン」に入会し、故・田中千香士氏(氏とは親友)、故・岩淵龍太郎氏などと共に、約10回に及び全国各地での室内オーケストラ公演に参加。一連の演奏はCDリリースされており、メンバー全員がコンサートマスターである故の、濃密で個性的な演奏が印象的である。

1980年の帰郷以来、後進の指導にもあたり、広島音楽高校、広島文化短期大学(当時)、くらしき作陽大学(客員教授)で教鞭を執る傍ら、ヴァイオリン教室「弓の会」を主宰し、30年以上にわたり、幼児より音楽大学受験レベルまでの生徒数百人を指導。地元コンクール及び、全日本学生音楽コンクール、日本音楽コンクールなどで優秀な成績をおさめた人材、国内外でプロとして活躍中の

人材も多数輩出する。吟味した指導により最短距離で上達させることを信念とするほか、地方であっても中央と変わらぬレベルの教育を与えるべく邁進してきた。

その後、優秀な若手演奏家に協奏曲共演のチャンスを与える目的の「コジマ・ムジカ・コレギア」定期演奏会、幼児より高校生までが仲良く合奏を学ぶ場である「広島ジュニアオーケストラ」、先鋭若手講師陣を招聘し、室内楽を中心に学ぶセミナー「HIROSHIMA MUSIC FESTIVAL」(尾道市の支援を受け2011年より尾道にて開催、現しまなみ音楽祭/5月の尾道音楽学校)を相次ぎ発足及び主宰。2011年7月、20年以上の縁ある土地、尾道にて「しまなみジュニアオーケストラ」を発足。尾道市向島の海の近くに居を構え、余生を楽しみながらも続いて子どもたちの育成に携わる。

2010年よりジストニア、脳梗塞、パーキンソン病と相次ぎ発症、また交通事故にも遭い、闘病をしつつもレッスンを続け、2015年には最後の出張教室「因島教室」も開設。2015年秋と2017年春には長男・小島燎を訪ねてパリへ渡航。2017年秋、尾道本通り商店街に「おのみち音楽館」として居を構え、パーキンソン病の症状と闘いながらも海辺の散歩や尾道の文化や食を楽しんで暮らす。2019年、パーキンソン病の悪化が著しくなり、指導活動から引退。その後入退院を繰り返しながら、尾道水道を一望するマンションにてリハビリに励み、趣味の落語や将棋番組の視聴、読書(特に池波正太郎を愛読)などで静かに過ごす。2020年はフランスのロックダウンの影響により小島燎が長期にわたり帰国し、最後の家族水入らずの日々を堪能した。



2021年夏、いよいよ病状が悪化し入院。コロナ禍の為家族とも会えない中で新型コロナウイルスに院内感染、瞬く間に重症化し、2022年5月13日18時25分、孤独のうちに永眠。享年80歳。

生前は演奏、指揮、指導のかたわら講演会、執筆活動も盛んで独特の筆致や洒落な話しぶりは見事であった。晩年は病気がちで寡黙であったが、なお生徒や保護者には慕われ、「認める」と「信じる」ことにより生徒たちは自然に能力を开花させていった。

愛用してきた楽器は1803年製ニコラ・リュポ(フランス・パリ)、2000年製ロベルト・レガッツィ(イタリア・ボローニャ)など。弓は故・江藤俊哉氏より譲り受けた銘弓ドミニク・ベカットほか。病気の為演奏がままならなくなってからも、楽器を愛し、毎晩磨いて眺めて過ごしていた。最期の日々は小島燎の演奏録音を聴くことを楽しみとしており、リハビリ施設にクラシック音楽が流れていたと聞く。

原爆に遭い、戦後を経験し、高度成長に与り、そしてコロナに罹り、激動の日本を駆け抜けたひとりの音楽家であった。





**株式会社 イズタ・バイオリン**

当店販売の楽器・弓には「イズタ・バイオリン保証カード」がついています。

ご購入者を対象に、永年の楽器保証サービスを行います。  
詳しくは当店スタッフにお問い合わせください。

<https://www.izuta-violin.co.jp/>  
info@izuta-violin.co.jp

〒810-0041 福岡市中央区大名2-9-29 TEL:092-713-7536  
第2プリンスビル1F FAX:092-713-7904

OPEN 10:30 CLOSE 18:30

定休日：毎週木曜日(祝日の場合は営業致します。)

美しい花 自然を愛でる空間をご一緒に

Flower salon *La Gemma*

フラワーデザイナー 木村里美 sato-0510.yar@ezweb.ne.jp  
Satomi Kimura 090-6833-3302

**NAGISA 2023 OPEN SCHOOL**  
9月16日(土)開催

知性と感性、夢へのチカラ。

**広島なぎさ中学校・高等学校**

2023 進路実績

**広島大学医学部医学科**  
・北海道大学 合格!

高校 10/7  
中学校 10/8

広島修道大学  
ひろしま協創中学校・高等学校

● 中高一貫コース  
● 特別進学コース  
● 進学コース

〒733-8622 広島市西区井口四丁目6-18 <https://www.shudo-u.ac.jp/fuzoku/>

音楽をとおして 私が変わり 世界を良くする人になる

音楽学部 ■ 音楽文化学科 ■ 演奏学科 ■ 大学院音楽研究科 ■ 修士課程 ■ 博士後期課程

**エリザベト音楽大学**

〒730-0016 広島市中区鞆町4-15 Tel.082-221-0918(代)  
kikaku01@eum.ac.jp http://www.eum.ac.jp/

創立75周年

**MIRAI**

代表取締役  
税理士 清水 弘司  
行政書士  
PRESIDENT KOJI SHIMIZU

(株)MIRAI 清水会計  
〒730-0012 広島市中区上八丁堀7-16-201  
Phone (082)224-6306 FAX (082)224-6307  
E-mail shimizu-mirai@outlook.jp

**YAMAHA**  
Make Waves

さあ、新しい自分に会いに行こう。

ヤマハミュージック 広島店  
〒730-8628 広島市中区紙屋町1-1-18 TEL:082-244-3666(代)  
<https://retailing.jp.yamaha.com/shop/hiroshima>

中高生も脱毛するのが当たり前

7歳からの脱毛サロン clear  
完全個室 親子でご来店可能

ご相談はこちらから

お試し500円脱毛  
ご予約はこちらから

082-847-5446 海田町南大正町3-36第二森本ビル301

**NATSU PHOTO**

さかもとなつこ  
人物専門フォトグラファー

090-2741-7998  
natsuphoto22@gmail.com

ベヒシュタインは今年で創業170周年。  
ピアノ芸術のさらなる高みへと歩みを進めます。

ベヒシュタイン創業170周年記念企画♪  
完全予約制にて試弾キャンペーン開催中  
ベヒシュタイン・ジャパンの正規代理店の弊社まで  
ぜひお問い合わせください

弊社ホームページのお問い合わせフォームまたは  
下記のお電話、メールアドレスまでご連絡ください

ベヒシュタイン・ジャパン正規代理店  
ピアノファームジャパン・坂井原ピアノ調律事務所  
〒731-0232 広島市安佐北区龜山南2丁目5-20-8  
Tel 090-4698-7074  
E-mail:sakaibara@pianofirmjapan.com

**Cherie Fleur**

フラワーアレンジメントを、オーダーメイドでお作りします  
(広島市、廿日市市、大竹市)

フラワーアレンジメント教室主宰  
NFD講師  
Tel:090-9062-1354 (めぐみ)

田中優一総合会計事務所  
(株式会社YT&A)

公認会計士・税理士  
田中 優一 Yuichi Tanaka

〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-16-21  
TEL 03-6871-3471  
MOBILE 090-7555-7406  
MAIL y14358147@yahoo.co.jp

「求人を出してもなかなか応募がない」  
「せっかく採用してもすぐに辞めてしまう」  
こんなお悩みはありませんか？

広告に頼らずに、  
定着する人材を採用する支援をいたします。

【社労士 Office BH】  
採用定着士\* 植村 逸木  
〒730-0051 広島市中区大手町1丁目7-21-302  
082-909-2220 (初回相談は無料)

「力強く温かみのある響き  
最高のパートナーに出会えました」

Salvi AURORA 愛用 宮武 佑名 (ハーブ奏者)

日本総代理店 GINZA JUJIYA  
ginzajujiya.com

YouTube



# Hiroshima Premier Clinic

10年以上の実績を誇る  
本物の美容医療



 二重整形  医療脱毛

 しみ・美肌 治療  たるみ・若返り 治療

## ご予約方法

①TEL

②HP

③公式LINE

☎0120-165-800



院長 雑賀知歩

## 広島プリミエクリニック

広島市中区本通7-29 アイビービル4階

診察時間9:00~18:00 休診日 火曜・日曜(変動あり)

☎ 0120-165-800

## 協賛

(医)唐淵会 桑原医院、フマキラー株式会社、  
株式会社浜松ピアノ社、瀬戸内海汽船、コア・ライフプランニング株式会社、  
樋口バイオリン工房、しまなみジュニアオーケストラ、  
大河原満子、上手康嗣・綾子、佐原有希子、関根慧祐・仁子、竹内和江、九十九慧典・有美、  
戸梶美穂、長原博美、廣中 健、松村篤季

ご協賛いただき誠にありがとうございました。

ステージマネージャー/栗栖壽子  
ステージスタッフ/管野泰久、倉地彩歌、坂井原浩、山口拓也  
フラワーデザイン/bien de bijox (ビアンドゥ ビジュ)、Flower salon La gemma (ラ・ジェンマ)  
ビデオ/河野ビデオ制作、撮影/すたじおえふ、空尾伊知郎  
スライドショー制作/仁井内さくら、印刷物デザイン/野田ひとみ

《青少年のためのオーケストラの祭典》実行委員会事務局

TEL : 080 -1944 - 2388(小島)

MAIL : tomokist@siren.ocn.ne.jp

HP・FB検索キーワード :

#コジマ・ムジカ・コレギア

#広島ジュニアオーケストラ

#しまなみ音楽祭

#しまなみ海道・秋の音楽休暇村


#小島秀夫音楽塾

#おのみち音楽館



YUI Orthodontic Dentistry  
ゆい矯正歯科

広島県廿日市市串戸2丁目17-1 1F  
診療時間 平日10:00-18:30 土曜日、日曜日(月2回)9:00-17:30  
休診日 水曜日・日曜日・祝日  
【完全予約制】 TEL 0829-34-1181

益成 一葉さん  
コジマ・ムジカ・コレギアご出演おめでとうございます！

ヤマハ音楽教室の一歳児コースに1歳の誕生日と同時に申し込んでくださった時から、すさまじい成長のスピードとピアノへの熱い思いにいつも心打たれます。コンチェルトデビューおめでとう！いっちゃんの夢がかなうまで、これからもずっと応援しています。

株式会社  
ふちだ楽器店



## 大きな木

2011年の小島秀夫バースデーコンサートのプログラム巻末に

シェル・シルヴァスタイン作の絵本

「大きな木」のことを書かせていただきました。

12年経ち、今は亡き人となりましたが、  
彼の人生はまさに「大きな木」でした。

不動で寡黙と書きましたが  
不幸なことに晩年は、まさに不動(歩くこともままならず)  
・寡黙(話すこともままならず)であり  
徳を積んだはずなのに気の毒な病に侵されました。  
しかし果敢に病と死と向き合い、泣き言も言わず  
たったひとりで  
潔く旅立ちました。

そして今は自由に飛び回ることのできる「鳥」になりました。

眼光鋭い「鷲」ですね。

大空から、黙ってみんなのを見えています。

大きな木は全てを与えて小さな切り株となり果てましたが  
たくさんの実を落としました。

そして今日も

幼い子たちは小島が書いた手書きの楽譜で演奏しています。

たくさんの「実」が集まって本日の演奏会となりました。

本日の会がみなさまのご厚意と情熱のもと、  
無事開催されましたことを心より感謝申し上げます。

ありがとう。



## 大きな木

2011年の小島秀夫バースデーコンサートのプログラム巻末に  
シェル・シルヴァスタイン作の絵本  
「大きな木」のことを書かせていただきました。  
12年経ち、今は亡き人となりましたが、  
彼の人生はまさに「大きな木」でした。

不動で寡黙と書きましたが  
不幸なことに晩年は、まさに不動(歩くこともままならず)  
・寡黙(話すこともままならず)であり  
徳を積んだはずなのに気の毒な病に侵されました。  
しかし果敢に病と死と向き合い、泣き言も言わず  
たったひとりで  
潔く旅立ちました。

そして今は自由に飛び回ることできる「鳥」になりました。  
眼光鋭い「鷲」ですね。  
大空から、黙ってみんなのものをしています。  
大きな木は全てを与えて小さな切り株となり果てましたが  
たくさんの実を落としました。

そして今日も  
幼い子たちは小島が書いた手書きの楽譜で演奏しています。  
たくさんの「実」が集まって本日の演奏会となりました。

本日の会がみなさまのご厚意と情熱のもと、  
無事開催されましたことを心より感謝申し上げます。

ありがとう。

小島 朋子